

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6318104号  
(P6318104)

(45) 発行日 平成30年4月25日(2018.4.25)

(24) 登録日 平成30年4月6日(2018.4.6)

(51) Int.Cl. F 1  
**A 4 5 D 33/00 (2006.01)**  
 A 4 5 D 33/00 6 1 0 C  
 A 4 5 D 33/00 6 1 0 A

請求項の数 1 (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願2015-36319 (P2015-36319)	(73) 特許権者	501449702 戎屋化学工業株式会社
(22) 出願日	平成27年2月26日(2015.2.26)		大阪府八尾市跡部本町1丁目4番47号
(65) 公開番号	特開2016-154781 (P2016-154781A)	(74) 代理人	100102211 弁理士 森 治
(43) 公開日	平成28年9月1日(2016.9.1)	(72) 発明者	森本 佳幸 大阪府八尾市跡部本町1丁目4番47号 戎屋化学工業株式会社内
審査請求日	平成28年10月5日(2016.10.5)	(72) 発明者	辻井 宣博 大阪府八尾市跡部本町1丁目4番47号 戎屋化学工業株式会社内
		(72) 発明者	永留 和彦 大阪府八尾市跡部本町1丁目4番47号 戎屋化学工業株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 蓋付き容器

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器本体と蓋とがヒンジ部によって回動開閉自在に連結され、容器本体と蓋のいずれか一方に係合部が設けられ、他方に前記係合部に係脱自在に係合する係合片が設けられ、該係合片が前記係合部を乗り越えて該係合部に係合することで容器の閉状態が保持されるとともに、押込操作することによって、係合部と係合片の係合状態を解除する方向の解除力を係合片に作用させる係合片操作部材を備えた蓋付き容器において、係合片操作部材の押込操作時の押込量の幅方向の偏倚を制限する摺動ガイド機構として、係合部の両側に形成された断面形状が矩形のガイド部と、該ガイド部と嵌合する係合片操作部材の内部の空洞部を仕切る仕切り壁によって形成された断面形状が矩形の凹状のガイド部とを設けてなることを特徴とする蓋付き容器。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、蓋付き容器に関し、特に、化粧用コンパクト容器等の開閉可能な蓋を備えた蓋付き容器に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、化粧用コンパクト容器等において、開閉可能な蓋を備えた蓋付き容器が用いられている(例えば、特許文献1参照。)

20

## 【0003】

ところで、この種の蓋付き容器は、容器本体と蓋とがヒンジ部によって回動開閉自在に連結され、蓋と容器本体のいずれか一方に係合部が設けられ、他方に前記係合部に係脱自在に係合する係合片が設けられ、係合片が前記係合部を乗り越えて該係合部に係合することで容器の閉状態が保持されるようにしている。

そして、この蓋付き容器は、押込操作することによって、係合部と係合片の係合状態を解除する方向の解除力を係合片に作用させる係合片操作部材を備え、蓋を開く際に、係合片操作部材を押込操作することによって、係合部と係合している係合片に、係合部との係合状態を解除する方向の解除力を作用させることができるようにしている。

## 【先行技術文献】

## 【特許文献】

## 【0004】

【特許文献1】実用新案登録第2580759号公報

## 【0005】

ところで、この蓋付き容器、特に、化粧用コンパクト容器等は、携帯して持ち運ばれることから、機構をできるだけ小型化したいという要請があり、このため、係合片操作部材を押込操作する際の作動距離も極力短くなるようにしていた。

しかしながら、このように、係合片操作部材の作動距離を短くなるようにした場合、係合片操作部材を押込操作する際に押込量に幅方向の偏倚が生じやすく、偏倚が生じると、係合部と係合している係合片に、係合部との係合状態を解除する方向の解除力を均等に作用させることができず、蓋を円滑に開くことができないという問題があった。

そして、この問題は、特に、操作性をよくするために幅方向の寸法を大きく形成した係合片操作部材の端部を押込操作した場合に発生しやすい傾向にあった。

## 【発明の概要】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0006】

本発明は、上記従来の蓋付き容器の有する問題点に鑑み、係合片操作部材を押込操作する際に押込量に幅方向の偏倚を生じさせず、係合部と係合している係合片に、係合部との係合状態を解除する方向の解除力を均等に作用させることにより、蓋を円滑に開くことができるようにした蓋付き容器を提供することを目的とする。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0007】

上記目的を達成するため、本発明の蓋付き容器は、容器本体と蓋とがヒンジ部によって回動開閉自在に連結され、容器本体と蓋のいずれか一方に係合部が設けられ、他方に前記係合部に係脱自在に係合する係合片が設けられ、該係合片が前記係合部を乗り越えて該係合部に係合することで容器の閉状態が保持されるとともに、押込操作することによって、係合部と係合片の係合状態を解除する方向の解除力を係合片に作用させる係合片操作部材を備えた蓋付き容器において、係合片操作部材の押込操作時の押込量の幅方向の偏倚を制限する摺動ガイド機構として、係合部の両側に形成された断面形状が矩形のガイド部と、該ガイド部と嵌合する係合片操作部材の内部の空洞部を仕切る仕切り壁によって形成された断面形状が矩形の凹状のガイド部とを設けてなることを特徴とする。

## 【発明の効果】

## 【0009】

本発明の蓋付き容器によれば、係合片操作部材の押込操作時の押込量の幅方向の偏倚を制限する摺動ガイド機構を設けるようにすることにより、係合片操作部材を押込操作する際に係合片操作部材の押込量に幅方向の偏倚を生じることがなく、係合部と係合している係合片に、係合部との係合状態を解除する方向の解除力を均等に作用させることができ、これにより、例えば、操作性をよくするために幅方向の寸法を大きく形成した係合片操作部材の場合でも、蓋を円滑に開くことができる。

## 【0010】

10

20

30

40

50

そして、前記摺動ガイド機構を、係合部の両側に形成された断面形状が矩形のガイド部と、該ガイド部と嵌合する係合片操作部材の内部の空洞部を仕切る仕切り壁によって形成された断面形状が矩形の凹状のガイド部とで構成することにより、摺動ガイド機構を成形が容易な簡易な構造とすることができる。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本発明の蓋付き容器の一実施例を示す側面断面図である。

【図2】同蓋付き容器の容器本体を示し、(a)は平面図、(b)は正面図、(c)は側面断面図である。

【図3】同蓋付き容器の係合片操作部材を示し、(a)は平面図、(b)は正面図、(c)は背面図、(d)は側面断面図である。

10

【発明を実施するための形態】

【0012】

以下、本発明の蓋付き容器の実施の形態を、図面に基づいて説明する。

【0013】

図1～図3に、本発明の蓋付き容器の一実施例を示す。

この蓋付き容器1は、合成樹脂製の容器本体2と蓋3とがヒンジ部4によって回動開閉自在に連結され、容器本体2に係合部21が設けられ、蓋3に係合部21に係脱自在に係合する係合片31が設けられ、係合片31が係合部21を乗り越えて係合部21に係合することで容器1の閉状態が保持されるとともに、押込操作することによって、係合部21と係合片31の係合状態を解除する方向の解除力を係合片31に作用させる合成樹脂製の係合片操作部材5を備え、係合片操作部材5の押込操作時の押込量の幅方向の偏倚を制限する摺動ガイド機構6を設けるようにしている。

20

【0014】

ここで、本実施例においては、係合部21を容器本体2に、係合片31を蓋3に、それぞれ設けるようにしたが、係合部を蓋3に、係合片を容器本体2に、それぞれ設けるようにすることもできる。

【0015】

ヒンジ部4と対向する容器本体2の前面に設けた凹部22には、係合片操作部材5を水平方向に摺動可能に配設し、蓋3を開く際に係合片操作部材5を押し込むことによって、係合片操作部材5に設けた突出片51が、容器本体2に設けた支持片23の後方に向かって登り勾配に形成されたカム面23aに支持されながら蓋3に形成した係合片31に当接し、これを押し上げるようにすることによって、係合片31が係合部21を乗り越えて係合部21との係合状態が解除されることで蓋3を開状態にすることができるようにしている。

30

【0016】

係合片操作部材5の突出片51は、その基部に弾性屈曲可能な薄肉ヒンジ部51aを備えて突出しており、容器本体2の支持片23の上方に位置し、蓋3を閉じた状態で、蓋3の係合片31の下端部にほぼ接触するようにされている。

そして、係合片操作部材5を押し込むと、突出片51が薄肉ヒンジ部51aを屈曲させながら、支持片23のカム面23aに沿って斜め上方に案内され、突出片51が蓋3の係合片31の下端部を上方に押し上げ、これにより、蓋3が上方に押し上げられるとともに、係合片31が係合部21を乗り越えて係合部21との係合状態が解除され、蓋3を開状態にすることができる。

40

【0017】

係合片操作部材5の押込操作時の押込量の幅方向の偏倚を制限する摺動ガイド機構6は、容器本体2に係合部21の両側に設けた凸状のガイド部24と、このガイド部24と嵌合する係合片操作部材5に設けた対向する仕切り壁52a間に形成された凹状のガイド部52とからなり、押込操作時に係合片操作部材5の前面が幅方向で傾斜せずに押し込まれるように、ガイド部24とガイド部52の少なくとも側面同士が摺接して、幅方向をガイ

50

ドするようにしている。

【0018】

ここで、本実施例においては、容器本体2に設けたガイド部24を凸状に、係合片操作部材5に設けたガイド部52を凹状に、それぞれ形成するようにしたが、係合片操作部材5の押込操作時の押込量の幅方向の偏倚を制限することができる機能を有するもの、すなわち、押込操作時に係合片操作部材5の前面が幅方向で傾斜せずに押し込まれるように幅方向をガイドするものである限りにおいて、凹凸状の形状を逆に形成するようにしたり、他の任意のガイド構造を採用することもできる。

【0019】

この蓋付き容器1によれば、係合片操作部材5の押込操作時の押込量の幅方向の偏倚を制限する摺動ガイド機構6を設けるようにすることにより、係合片操作部材5を押込操作する際に係合片操作部材5の押込量に幅方向の偏倚を生じることがなくなる。10

これにより、係合部21と係合している係合片31に、係合部21との係合状態を解除する方向の解除力を均等に作用させることができ、これにより、例えば、操作性をよくするために幅方向の寸法を大きく形成した係合片操作部材5の場合でも、蓋3を円滑に開くことができる。

【0020】

以上、本発明の蓋付き容器について、その実施例に基づいて説明したが、本発明は上記実施例に記載した構成に限定されるものではなく、その趣旨を逸脱しない範囲において適宜その構成を変更することができるものである。20

【産業上の利用可能性】

【0021】

本発明の蓋付き容器は、係合片操作部材を押込操作する際に押込量に幅方向の偏倚を生じさせず、係合部と係合している係合片に、係合部との係合状態を解除する方向の解除力を均等に作用させることにより、蓋を円滑に開くことができる特性を有していることから、化粧用コンパクト容器等の蓋付き容器の用途に好適に用いることができる。

【符号の説明】

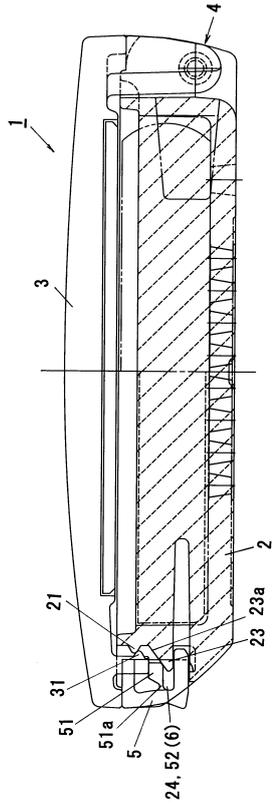
【0022】

- 1 蓋付き容器
- 2 容器本体
- 21 係合部
- 22 凹部
- 23 支持片
- 23a カム面
- 24 ガイド部（摺動ガイド機構）
- 3 蓋
- 31 係合片
- 4 ヒンジ部
- 5 係合片操作部材
- 51 突出片
- 51a 薄肉ヒンジ部
- 52 ガイド部（摺動ガイド機構）
- 52a 仕切り壁
- 6 摺動ガイド機構

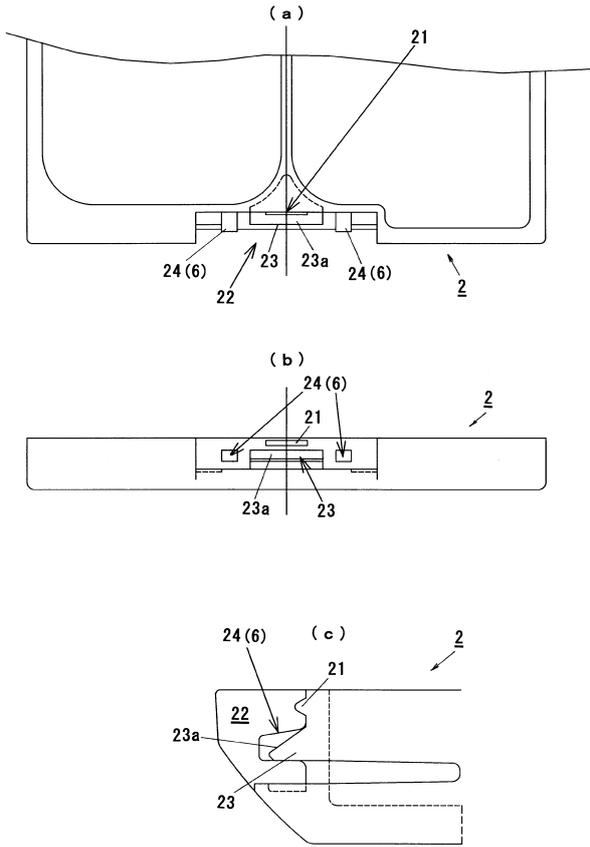
30

40

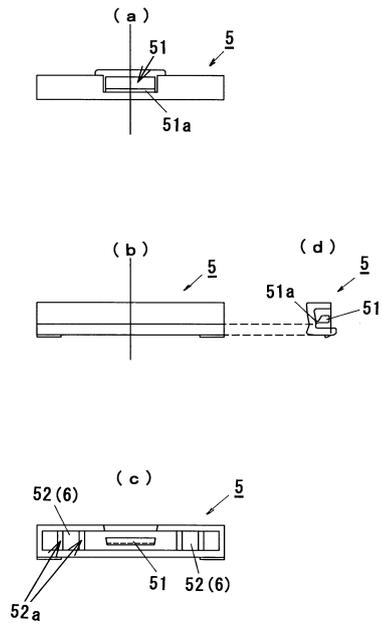
【図1】



【図2】



【図3】



---

フロントページの続き

審査官 村山 睦

(56)参考文献 特開2004-261503(JP,A)  
特開2002-177043(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)  
A45D 33/00